

(学校番号218) 令和4年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【内谷中学校】

4月28日 目標・策	
知識・技能	R3年度全国学力・学習状況調査の自校結果より、国語・数学の「知識・技能」において3pt向上させる。(R4年度全国学力・学習状況調査の国語・数学・理科の「知識・技能」において全国平均を上回る。 ⇒ TPC端末で「デジタル教材」を積極的に活用し、言葉の使い方や特徴に関する事項、基本的な計算等の反復・習熟を行う。その際、生徒の学習履歴を確認し、月に1度、朝の自学の時間を活用し、重点的に補習を行う。
思考・判断・表現	R3年度全国学力・学習状況調査の自校結果より国語・数学の「思考・判断・表現」において3pt向上させる。(R4年度全国学力・学習状況調査の国語・数学・理科の「思考・判断・表現」において全国平均を上回る。) ⇒ 各教科の授業において、グループワーク(教え合い、学び合い活動)を計画的に取り入れる。「ムーンノート」等を用いながら多角的なものの見方や課題解決に向けて協力しあう態度が身につくよう指導する。特別支援学級においては具体物を積極的に用いて視覚的イメージを持つことで、自ら考え、表現しやすくなる環境づくりを推進する。
主体的に学習に取り組む態度	R4年度さいたま市学習状況調査(生活習慣等に関する調査)における「10.家で自分で計画を立てて勉強していますか。」の質問項目において、肯定的な回答の割合を70%以上にさせる。 ⇒ 各教科では学習カードを積極的に取り入れる。単元の学習計画を提示し、授業終了後や単元終了後に自分の理解度や改善点などについて振り返りを行わせる。また生活記録ノートと学習計画表を合体させた新形式の学習計画表をテスト期間中に全学年で導入する。生徒の学習状況を把握し、必要な生徒に定期的にアドバイスやフォローアップを行う。

9月2日 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
知識・技能	R3年度全国学力・学習状況調査の結果と、R4年度全国学力・学習状況調査の結果を比較する上で、R3年度の結果に「知識・技能」の項目がなく、正確な比較ができなかった。そのため、目標を第3学年の国語・数学の「知識・技能」の評価(通知表)において、1学期から2学期にかけて3%以上の生徒が向上すると修正する。 ⇒ TPC端末でデジタル教材などを授業内で活用し、基礎的な知識・技能の定着を図ることを追加する。
思考・判断・表現	R3年度全国学力・学習状況調査の結果と、R4年度全国学力・学習状況調査の結果を比較する上で、R3年度の結果に「思考力・判断力・表現力」の項目がなく、正確な比較ができなかった。そのため、目標を第3学年の国語・数学の「思考力・判断力・表現力」の評価(通知表)において、1学期から2学期にかけて3%以上の生徒が向上すると修正する。 ⇒ 追加、修正なし
主体的に学習に取り組む態度	R4年度全国学力・学習状況調査の「家で計画を立てて勉強をしていますか」という質問項目の肯定的な回答が63%だったことを受け、目標を3年生において、肯定的な回答の割合を65%以上にするに修正する。 ⇒ 4月の策として掲げたち「各教科では学習カードを積極的に取り入れる。単元の学習計画を提示し、授業終了後や単元終了後に自分の理解度や改善点などについて振り返りを行わせる。」の部分を削除する。TPC端末でデジタル教材を使用し、家で計画的に学習ができるようにそれらの活用方法を指導することを追加する。

8月18日 全国学力・学習状況調査結果・分析	
R4年度全国学力・学習状況調査において、全国の平均正答率と比較し、国語+9pt、数学+13pt、理科+7ptであった。 R4年度国語の平均正答率は、市、全国と比べて大幅に高かった。特に「知識・技能」の平均正答率の全国との差よりも、「思考力・判断力・表現力」の平均正答率の全国との差の方が大きかった。R3年度国語の全国平均との差と、R4年度国語の全国平均との差を比べると、R4年度の全国平均との差の方が大きかった。 R4年度数学の平均正答率は、市、全国と比べて大幅に高かった。特に「思考力・判断力・表現力」の平均正答率の全国との差よりも、「知識・技能」の平均正答率の全国との差の方が大きかった。R3年度数学の全国平均との差と、R4年度数学の全国平均との差を比べると、R4年度の全国平均との差の方が大きかった。 R4年度理科の平均正答率は、市、全国と比べて大幅に高かった。特に「知識・技能」の平均正答率の全国との差よりも、「思考力・判断力・表現力」の平均正答率の全国との差の方が大きかった。R3年度理科の全国平均との差と、R4年度理科の全国平均との差を比べると、R4年度の全国平均との差の方が大きかった。 国語の「知識・技能」においては、「自分の考えが分りやすく伝わるように表現工夫して話す」の無回答率が他の問題に比べて高かった。「思考力・判断力・表現力」においては、「場面と場面、場面と場面などを結び付けて、内容を解釈する」の正答率は85%程度となっているが、無回答率が他の問題に比べて低かった。「思考力・判断力・表現力」においては、「筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる」の正答率が20%程度であるのに対し、無回答率は32%であった。 R4年度全国学力・学習状況調査「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という質問項目において、肯定的な回答の割合は全国、市を下回ったが、「国語の勉強は好き」、「数学の勉強は好き」という質問項目において、肯定的な回答の割合は全国、市を上回った。国語、数学については、勉強が好きになるような授業づくりや意識づけができるよう授業改善に努める。	

2月24日 さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	国語、数学、社会、理科の4教科すべての「知識・技能」平均正答率は、市平均正答率を上回った。特に数学の「知識・技能」の平均正答率は、市平均正答率と比較し、+4.5ptとなった。 また、国語、数学、社会、理科の4教科すべての「思考力・判断力・表現力」の平均正答率も、市平均正答率を上回った。特に数学の「思考力・判断力・表現力」は、市平均正答率と比較し、+2.7ptとなった。
中2	数学、社会、理科の「知識・技能」平均正答率は、市平均正答率を上回った。特に数学の「知識・技能」の平均正答率は、市平均正答率と比較し、+6.4ptとなった。 また、国語、数学、社会、理科の4教科すべての「思考力・判断力・表現力」の平均正答率は、市平均正答率を上回った。特に理科の「思考力・判断力・表現力」は、市平均正答率と比較し、+4.6ptとなった。
中3	生活習慣に関する調査のみ実施した。「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という質問項目の肯定的な回答は62%となり、市平均の肯定的な回答の割合を下回った。

2月24日 成果指標に対する達成状況		評価(※)
知識・技能	第3学年の国語は1学期から2学期にかけて、通知表でAおよびB評価の人数が減少した。第3学年の数学は1学期から2学期にかけて、通知表でA評価の人数が増加し、BおよびC評価の人数が減少した。数学においては、成果が上がった。	B
思考・判断・表現	第3学年の国語は1学期から2学期にかけて、通知表でAおよびC評価の人数が増加した。第3学年の数学は1学期から2学期にかけて、通知表でAおよびB評価の人数が増加し、C評価の人数が減少した。数学においては、成果が上がった。	B
主体的に学習に取り組む態度	「家で自分で計画を立てて勉強していますか」という質問項目の肯定的な回答は62%となり、修正した目標の65%には届かなかった。学年によってバラつきはあるが、学びに向かう力等、学習状況の質問項目では、市平均を上回る質問項目がいくつかあった。特に「国語の授業の内容はよくわかりますか」という質問項目では、3学年とも肯定的な意見の割合が上回った。	A

3月10日 次年度への課題と改善策	
知識・技能	市学習状況調査において、第2学年の国語の平均正答率が、市平均正答率を下回った。しかし、生活習慣に関する調査の「国語の授業の内容はよくわかりますか」という質問項目は、肯定的な回答の割合が市平均を上回っている。第1学年は、全ての教科で市平均正答率を上回ったが、社会の学校平均正答率と市平均正答率の差が最も小さかった。生活習慣に関する調査の質問項目、「社会の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答の割合は市平均を下回った。知識・技能の定着を図るため、教職員だけでなく生徒一人ひとりがTPC端末でデジタル教材を活用できるようガイダンスを充実させる。
思考・判断・表現	市学習状況調査において、第2学年は、全ての教科で市平均正答率を上回ったが、国語の学校平均正答率と市平均正答率の差が最も小さかった。第1学年も、全ての教科で市平均正答率を上回ったが、社会の学校平均正答率と市平均正答率の差が最も小さかった。各教科の授業に加えて、総合的な学習の時間や特別活動の時間等において、グループワーク(教え合い、学び合い活動)を計画的に取り入れ、効果的にTPC端末を使用し、課題解決に向けて考え、意見を交換することを習慣化する必要がある。
主体的に学習に取り組む態度	生活習慣に関する調査の学びに向かう力等、学習状況についての質問事項においては、半数程度の質問事項で市平均を上回る肯定的な回答であった。読書習慣については、3学年とも市平均を上回っていた。家庭で計画を立てて勉強をするために、生徒一人ひとりが、TPC端末でデジタル教材を活用できるように指導をしていく必要がある。また、日々の学習状況や計画が自分で把握できるよう、テスト計画表や生活記録ノートを活用していく。

※評価  
 A 8割以上(達成)      C 4割以上(あと一歩)  
 B 6割以上(概ね達成)      D 4割未満(不十分)